

おのえ地域計画書



平成27年3月29日

おのえ住民協議会

◇おのえ地域計画の進め方

平成25年5月のまちづくり協議会役員会で、地域計画策定委員会のメンバーを決定し、毎月1回のペースで地域計画策定委員会を開催し、おのえ地域の将来のあるべき姿について議論してきました。

◇地域計画策定の経緯

- H25.5 13名の策定委員を決め、「何をどう進めていくのか」の勉強会からスタートした。
- H25.6 地域の特徴、現状、課題等、メンバー全員が意見を出し合い、議論を進める。
- H25.8 松浦武四郎記念館、松浦武四郎誕生地、武四郎が学んだ寺子屋真覚寺等の見学で再認識を深めた。
- H25.12 「ふれあいの場」の検討においてふれあい農園の開園に向けたプロジェクトチームを発足する。
- H26.2 「松浦武四郎誕生地保存会」「武四郎友の会」との意見交換会を開催した。
- H26.5 「おのえ地域計画書」の骨格を取りまとめ、まちづくり協議会役員会に中間報告し、了解を得る。
- H26.5 「おのえ地域計画書」をまちづくり協議会委員会で、中間報告し、今後の進め方を説明した。
- H26.6 上記計画書の骨格をベースに骨子の作成に着手した。
- H26.11 提案書を策定委員会で議論し、了承を得る。
- H26.12 まちづくり協議会役員会にて内容の議論をし、了解を得る。
- H27.1 まちづくり協議会委員会にて内容の議論をし、了承を得る。
- H27.3 まちづくり協議会総会に提案する。

地域計画書の内容

I おのえ地域の概要

1. おのえ地域の特性（地理、歴史、文化、行事）
2. おのえ地域の基礎データ
 - （1）おのえ地域の人口
 - （2）おのえ地域の年齢構成
 - （3）おのえ地域の特徴
3. おのえ地域の主な課題

II おのえ地域の将来像

1. 北海道名づけ親『松浦武四郎』の誕生地「おのえ」
2. だれとでも気軽にあいさつができ、お年寄りにやさしいふれあいのまち「おのえ」
3. みんなが安全で安心して暮らせるまち「おのえ」

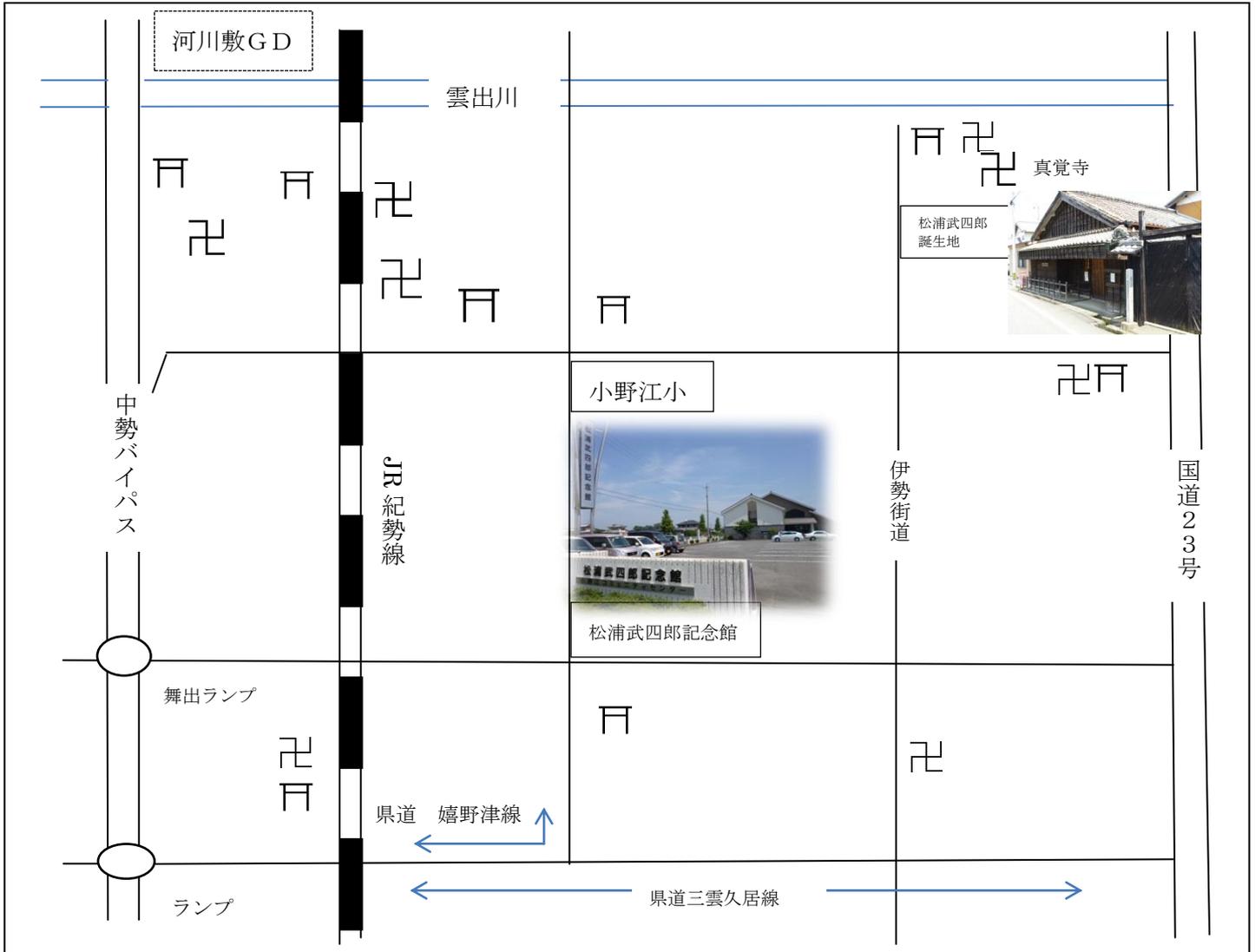
◇将来像の考え方

III 地域の目指す姿

1. 自然豊かな歴史あるまち
2. だれとでも気軽にあいさつができ、活気あふれる明るいまち
3. お年寄りにもやさしい、ふれあい豊かなまち
4. 安全で、安心して暮らせるまち

IV まちづくりの具体的な計画

I おのえ地域の概要



I-1 おのえ地域の特性

(1) 地理

松阪市の最北部に位置し、大きく区分すると、北は雲出川、東は国道23号線、南は県道嬉野津線・三雲久居線、西は中勢バイパスに囲まれたまちです。国道23号線、県道三雲久居線沿いは店舗・事務所・倉庫等が建ち並んでおり、また近年、アパート、ミニ住宅団地等が建てられ、津・松阪市街地の中間に位置することから沿道サービス業やベッドタウンとして発展しつつあり、全域的には、昔からの田畑に囲まれた自然豊かなまちです。

(2) 歴史

北海道の名付け親『松浦武四郎』の誕生地であり、毎年「武四郎まつり」が開催され、多くの見物客で賑わいます。また、江戸時代には東海道から分かれて、伊勢へと至る伊勢街道が北小野江・南小野江・肥留地区を通っており、昔ながらの屋号・常夜灯等が残っています。

各地区には、歴史のある神社・仏閣がまつられており、住民の深い信仰を集めています。

(3) 文化

甚目地区には、約300年前の江戸時代から伝わる伝統行事「虫おくり」が、毎年7月に開催され、松阪市の無形民俗文化財に指定されています。

(4) 行事

ア、武四郎まつり

旧小野江村役場跡において、松浦武四郎誕生地見学や、真覚寺への参拝にお越しの方に、「お休み処」として、無料でお茶とあられ・コーンスープ・ホルモン煮を準備し、おもてなしをしています。

イ、小野江地区ふれあいフェスタ（旧 小野江地区ふれあい祭り）

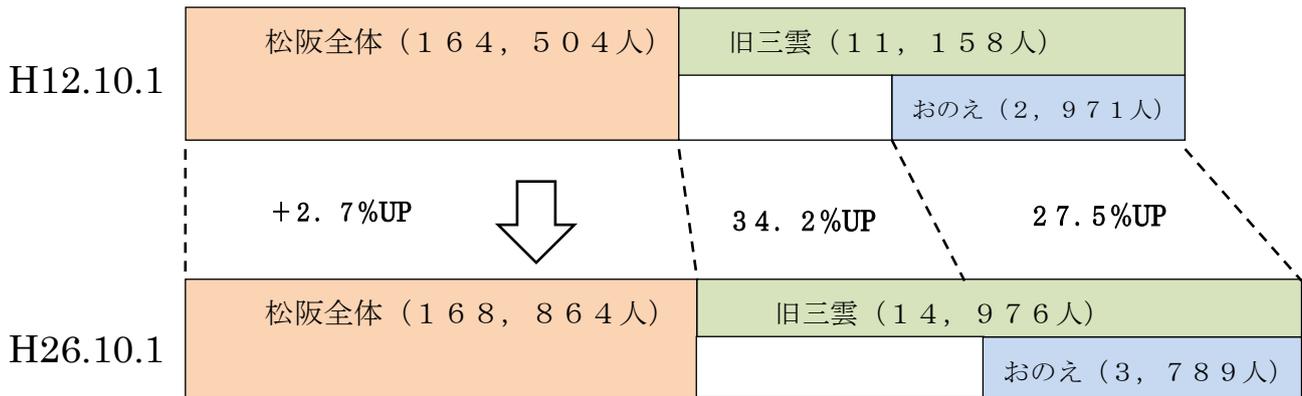
例年実施の小野江地区ふれあい祭りの内容に、小野江地区ふれあい運動会（前年度まで別日実施）の内容を盛り込んで更に内容を充実させた地域の新たな交流の場となる行事にしました。

ウ、七夕まつり

小野江神社の境内で、笹から伸びたイルミネーション・ローソクの灯りで、幻想的な雰囲気を作り、来場者には焼きトウモロコシ・きゅうり漬け等を提供しています。

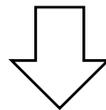
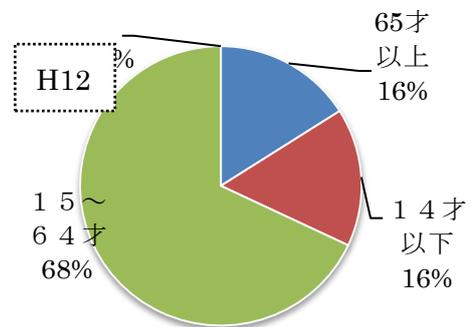
I-2 おのえ地域の基礎データ

(1) おのえ地域の人口

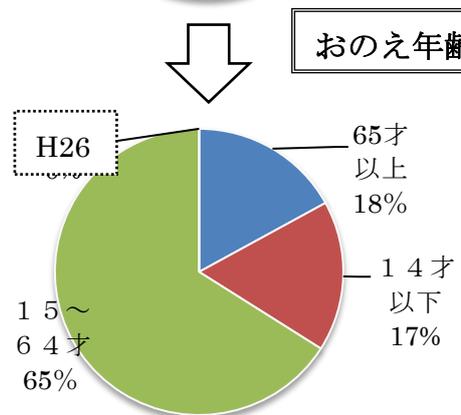


(2) おのえ地域の年齢構成

		0~14才	15~64才	65才以上
H12.10.1	松阪全体	15%	65%	20%
	旧三雲	17%	65%	18%
	おのえ地域	16%	68%	16%



H26.10.1	松阪全体	13%	60%	27%
	旧三雲	17%	63%	20%
	おのえ地域	17%	65%	18%



おのえ年齢構成

(3) おのえ地域の特徴 (対松阪全体)

項目	地域	
	おのえ	松阪全体
ア 人口増加率が高い	28%UP	3%UP
イ 若年(15才未満)の比率が高い	(H26) 17%	(H26) 13%
ウ 老年(65才以上)の比率は、松阪全体に対しては低い、着実に増加している	H12 16% → H26 18% (+2%)	H12 20% → H26 27% (+7%)

I-3 おのえ地域の主な課題

(1) 郷土の偉人「松浦武四郎」をさらに全国へ広める。

毎年「武四郎まつり」等が開催され、地方においては知名度も上がりつつあるが、さらに全県、東海、全国へと知らしめるため、以下のことについて、推進を図る必要がある。

- ・ 広報活動（ホームページの充実、パンフレットの作成、配布先等）
- ・ 松浦武四郎誕生地、松浦武四郎記念館、伊勢街道等周辺を含めた一帯の環境の整備（道しるべ、バリアフリー化等）
- ・ 整備後の松浦武四郎誕生地の活用

(2) 児童、高齢者等への交通事故対策等、安全・安心なまちづくり

R23 中勢バイパスの開通に伴い、舞出地区に I.C（舞出ランプ）ができ、同バイパスにつながる市道 星合舞出線の拡幅工事により、おのえ地域には交通量が大幅に増加することが予想されます。

このようなことから、お年寄りや子どもたちを交通事故から守るための対策を講ずる必要がある。

(3) 高齢者のふれあいの場の設置

高齢者人口の増加に伴い「健康づくり」「人とのふれあいの場づくり」がますます重要課題となる。

(4) 防災

東海、南海、東南海等の大地震における津波対策

Ⅱ おのえ地域の将来像

1. 北海道の名付け親『松浦武四郎』の誕生地「おのえ」

(自然豊かな歴史のあるまち)

2. だれとでも気軽にあいさつができ、お年寄りにも

やさしいふれあいのまち「おのえ」

3. みんなが安全で安心してくらせるまち「おのえ」

(安全で安心して暮らせるまち)

◇将来像の考え方◇

おのえ地域は、田園が広がる平坦地に各集落が点在し、神社・仏閣が祭られています。

また、雲出川の河川敷等には、樹木が生い茂り、豊かな自然も残されています。更には、偉人松浦武四郎の誕生地であるとともに、江戸時代におかげ参りの旅人でにぎわった伊勢街道のなごりが一部に残る歴史あるまちです。

このような地域の特性を活かして、地域の住民が協力して歴史と伝統文化を守り、発展させ、各種行事等催しを継続し、子ども・高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

Ⅲ 地域の目指す姿

1 自然豊かな歴史のあるまち

- ・松浦武四郎誕生地及び旧伊勢街道を積極的に広報し、まちのシンボルとする他、誕生地を活用したイベント等を催す。
- ・また自然を活かした憩いの場やウォーキングコースを設定、整備し、健康づくりを推進する。

2 だれとでも気軽にあいさつができ、活気あふれる 明るいまち

- ・オアシス運動等を推進し、明るい笑顔が満ちたまちづくりをする。

3 お年寄りにもやさしい、ふれあい豊かなまち

- ・遊休地での「ふれあいファーム」を開園し、広く地区住民に提供するとともに、祭り等のイベントでは「とれたての野菜」を味わえる等、ふれあいの場を広く提供する。

4 安全で、安心して暮らせるまち

- ・避難ルートの作成、高齢者避難手段の確保を図るとともに、高齢者のフォローのため、自治会、民生・児童委員等との連携を図り、安心して暮らせるまちにする。また、交通事故防止策を講じる等、安全に配慮したまちづくりを目指す。

<p>Ⅲ-1-(3) 自然を活かした健康づくり、ふれあいのできる場が少ない。</p>	<p>もっと多くの市民が参加できる健康づくりの場を提供する。</p>	<p>①ふれあい公園の新設（記念館北側の空き地、エゾヤマザクラのあたり） ②ウォーキングコースの設定、整備</p>	○	市 まち協	長期 中期	
--	------------------------------------	---	---	----------	----------	--



ふれあい公園候補地（記念館北側）

Ⅲ-2 （だれとでも気軽にあいさつができ、活気あふれる明るいまち）

現状	事業名	事業内容	重点 施策	主体	スパン	予定時期
<p>Ⅲ-2-(1) あいさつが小学生は盛んであるが、一部の大人までは浸透していない。</p>	<p>オアシス運動の推進を図る。</p>	<p>①小野江小学校区青少年健全育成協議会との連携を図り、育成・推進会の設置</p> <p>ハード面・「オアシス運動」標識板の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生のポスター作成・設置 <p>ソフト面・あいさつ運動月間の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育 ・まち協での展開 ・見守り隊での行動・指導 		<p>まち協</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>短期</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	

Ⅲ－３ (お年寄りにもやさしい、ふれあい豊かなまち)

Ⅲ－３－（１） ふれあいの場、イベントが十分ではない。	ふれあいの場、環境、イベントの提供をする。	①朝市の開催等お助け事業（地産地消、福祉券の発行） ②松浦武四郎記念館周辺のバリアフリー化 ③高齢者の見守り隊の充実（民生委員とのタイアップ） ④ふれあいファームの開設	●	まち協 市 まち協 まち協	中期 長期 中期 短期	H26年度実施済
--------------------------------	-----------------------	---	---	------------------------	----------------------	----------



ふれあいファーム（記念館南側）

Ⅲ－４ (安全で、安心して暮らせるまち)

Ⅲ－４－（１） 地震対策及び交通事故対策が遅れていないか。	振興局、各自治会との連携を図り、対策を実施する。	①防災講習会、訓練の実施（避難、炊き出し） ②防災グッズの配備、備蓄（倉庫の設置、備品の配備） ③大地震における津波対策（避難ルート策定） ④高齢者避難交通手段の確保（リヤカー等） ⑤高齢者フォロー体制の確立（要援護者カルテの作成） ⑥信号機、横断歩道の設置	● ● ○	まち協 まち協 まち協 まち協 市・警察	短期 〃 〃 〃 長期	一部実施済 一部実施済 一部実施済
----------------------------------	--------------------------	--	-----------------	----------------------------------	-------------------------	-------------------------